

令和6年度「CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業
(地域支援拠点運営事業)」
報告書

令和 7 年 3 月 3 1 日

公益財団法人長野県産業振興機構

1 委託事業名

令和6年度「CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）」

2 実施期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

3 委託業務の概要

CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）の長野拠点として、主に電動化に伴って影響を受ける中堅・中小自動車部品サプライヤー向けの相談窓口を設け、サプライヤーが抱える課題解決に向け、当該課題の分析や相談対応、研修による人材育成や実地研修・セミナー等を通じた啓発活動を行うほか、課題を解決できる適切な専門人材を派遣するなど、長野県内においてサプライヤーの経営状況に応じて伴走型の支援を行い、サプライヤーの業態転換・事業再構築を促進する。

4 委託業務の内容

(1) 相談窓口の運営

①実施内容

令和5年4月3日から公益財団法人長野県産業振興機構（以下「機構」という。）本部（長野市）の総務企画本部企画連携部内に、本事業の長野県拠点である「NAGANO自動車部品産業サプライヤー支援拠点」（以下「長野拠点」という。）を設置し運営を開始した。

長野拠点では、自動車部品サプライヤー事業転換支援事業プロジェクトマネージャーを中心に自動車産業における県内サプライヤーの事業転換や新たに参入しようとする県内製造業からの相談に対応し、機構各部・地域センターと連携しながら必要な支援制度を活用するなどして、県内におけるEVシフト等への事業構造の転換を支援した。

②設置方法・体制

相談窓口は、本事業実施のために配置している常勤コーディネーター（自動車部品サプライヤー事業転換支援事業プロジェクトマネージャー）1名と常勤のアシスタントコーディネーター1名に加え、新たに非常勤コーディネーター（事業転換支援アドバイザー）に1名を委嘱して相談対応にあたり、必要に応じて企画連携部員がフォローする体制とした。

開設時間は、平日（月曜日から金曜日まで）の8:30～17:15（昼休憩12:00～13:00を除く）とした。相談問合せ先としては、企画連携部の電話番号及び長野拠点専用メールアドレスを使用し、アシスタントコーディネーターが1次対応し、相談概要を聞き取るとともに、コーディネーターとの面談の日時と方法（訪問、オンラインミーティング、電話など）を調整した。



③相談件数及び相談内容の記録・報告

相談内容については、機構が使用している支援情報共有データベースに記録しており、問合せの日時、相談者、相談概要、対応者名、相談内容、支援内容などを記録した上で、必要な支援につなげた。また、相談件数については別途カウントし、管理している。相談件数や対応方法などの月ごとの報告については、翌月の当初に専門家派遣等事務局（PwC コンサルティング合同会社）へ活動報告書を提出することにより行った。

相談対応の実施にあたっては、県内事業者からのアプローチを待つだけでなく、県の EV シフト状況調査の調査対象企業のほか実地研修・セミナー等の参加者など、これまで相談する機会がない、情報や支援が行き届いていない、小規模・零細事業者の掘り起こしを行いながらアプローチするプッシュ型の相談支援を心掛けた。

月ごとの相談件数及び相談対応状況は次のとおりである。

【相談件数】令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	5	6	7	5	6	3	4	4	3	6	6	5	60

長野県内企業は、電子機器附属品や時計、光学機器などで培ってきた切削、プレス、金型における精密加工などの基盤技術を生かし、90年代以降自動車部品へ徐々に展開してきており、訪問した企業からは、EV 関連の技術動向に対する情報提供の要望を多くいただいた。そこで、CAE 解析や MBD などのデジタル化に関するセミナーや、昨年度に続き EV 分解展示実地研修会を開催することとした。

(2) 実地研修・セミナー等の実施

ア 環境品質モビリティ研究会の開催

長野県内の自動車関連部品製造事業者のみならず、CASE 対応に伴い新たに次世代自動車産業への県内企業の参入機運を醸成するために、令和4年度に立ち上げた「環境品質モビリティ研究会」におけるセミナーを3回開催した。内容は、世界的に EV シフトを進めるメーカーの最新動向を含む CASE 対応等の次世代モビリティに関係する技術動向、国等の支援施策などについての情報を提供した。

<第1回開催>

- ・開催日時：令和6年5月16日（木）
14：00～16：00
- ・開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）
大研修室県展示場
- ・開催方法：現地リアル開催
- ・開催内容：講演「AZAPA の目指すエネルギーとモビリティのセクターカップリングと新規事業開発」
講師 AZAPA 株式会社エネルギーカンパニー
Vice President 山本賢一 様
- ・参加者数：企業：13社 19名（講師を含む） 大学・支援機関・行政：9名
事務局：9名 合計：37名



- ・アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：
 - ✓講演後の名刺交換と質疑応答によって、当社が知りたかったEV用モーターコアのトレンドが解りました。
 - ✓モビリティがEVへとシフトいく上で、バッテリーの再生・共有化・スぺア等の問題解決に向け、事業展開されている事例を大変解りやすく講演頂き、感銘した。

＜第2回開催＞

- ・開催日時：令和6年8月9日（金）
14：00～16：00
- ・開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）
大研修室県展示場
- ・開催方法：現地リアル開催
- ・開催内容：講演「モビリティ事業創造について 第二弾」
講師（株）環境エネルギー投資 モビリティ事業創造室
室長 林 隆介 氏 氏
- ・参加者数：企業：14社 17名（講師を含む）大学・支援機関・行政：8名
事務局：8名 合計：33名
- ・アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：
 - ✓ヨーロッパにおけるEV市場での電池供給面での事情について面白くお聴きしました。
 - ✓水素を使うが、まだ見えていない世界であるということが印象的。正解がない状況にあると感じた。



＜第3回開催＞

- ・開催日時：令和6年10月9日（水）
14：00～16：00
- ・開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）
大研修室県展示場
- ・開催方法：現地リアル開催
- ・開催内容：講演「サステナブル社会実現に向けた
自動車用材料と資源循環の最新動向」
講師 日産自動車株式会社
企画・先行技術開発本部 材料技術部 部長 林 孝雄 氏
- ・参加者数：企業：13社 20名（講師を含む）大学・支援機関・行政：9名
事務局：6名 合計：35名
- ・アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：
 - ✓自動車設計の時点で材料開発に関し、環境問題に対応していく事が相当進んでいると感じた。
 - ✓材料のリサイクル分別精度の技術に対して驚きを受けました。弊社でのリサイクルについても考えさせられる機会となりました。



イ 次世代モビリティ関連技術講座の開催

CASE対応に伴う新たなサプライチェーンに県内企業が参入していくために必要とな

る技術や設計生産システムなどの知識を習得するための講座を3回開催した。

内容は、自動車の電動化関連（xEV 関連）やデジタル化の進展、CASE対応等について、メーカーの最新動向を含む次世代モビリティに関係する技術動向などの情報を提供した。

＜第1回開催＞

- ・開催日時：令和6年10月23日（水）

14：00～16：00

- ・開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）

大研修室県展示場

- ・開催方法：ハイブリッド開催（会場/オンライン配信）



- ・開催内容：講演「車両分解により見えてきた xEV 技術の現在地と
2030 年へ向けて自動車業界が執るべき技術戦略」

講師 名古屋大学 未来材料・システム研究所

教授 山本 真義 氏

- ・参加者数：企業 35 社 49 名（講師を含む）、大学・支援機関・行政 14 名
事務局 8 名 合計：71 名

- ・アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：

✓パワートレインの技術動向を知ることが出来、有意義であった。

✓実際のインバーターなどを展示して頂き、触れたことは大変良かったです。

電気自動車の国内および海外メーカーの動向など説明くださり参考になりました。

＜第2回開催＞

- ・開催日時：令和6年12月9日（月）13：30～16：00

- ・開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）大研修室県展示場

- ・開催方法：ハイブリッド開催（会場/オンライン配信）

- ・開催内容：講演1 MBD 推進センターが考える「これからの自動車開発と
中小企業様の競争力向上への期待」とは

講師 本田技研工業株式会社 BEV 完成車開発統括部 開発プロセス改革部
開発プロセス課 エキスパートエンジニア 青木 剛 氏

講演2 プレス金型製作における 3D モデル活用

講師 有限会社永井製作所 永井 慎也 氏



- ・参加者数：企業 21 社 29 名（講師を含む）、大学・支援機関・行政・講師関係者 14 名
事務局 7 名 合計：50 名

- ・アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：

- ✓ 普段から CAE の必要性を感じていた中でのテーマでしたので、関心を持って聞くことが出来ました。今後の参考になりました。
- ✓ プレス金型の設計から製造までの 3D 化の必要性が理解できた。

＜第 3 回開催＞

- ・ 開催日時：令和 7 年 2 月 28 日（金）
13：30～15：30
- ・ 開催場所：テクノプラザおかや（岡谷市）
大研修室県展示場
- ・ 開催方法：ハイブリッド開催（会場/オンライン配信）
- ・ 開催内容：講演「電動化関連（xEV 関連）の技術動向と
長野県内企業の部品参入の可能性について」
講師 オートインサイト株式会社 代表 鶴原 吉郎 氏
- ・ 参加者数：企業 24 社 29 名（講師を含む）、大学・支援機関・行政 12 名
事務局 7 名 合計：48 名
- ・ アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：
 - ✓ EV 電動車の世界の動向について、知ることができ、大変有意義でした。
 - ✓ 電動化において今後重要な部品（ヒートシンク、モーターコアのアモルファス化など）やバッテリーのセル構造の簡素化など大変参考になりました。



ウ EV 分解展示実地研修会の開催

県内企業が電動化の進展やCASEの動向などについて理解を深め、EV 関連部品の生産へ事業をシフトするにあたり、EV にどのような部品が使われているのか、使われている部品の改善提案の余地があるのかなどについて、実際に構成されている部品を見て検討するため、EV の分解展示場を視察する実地研修会を開催した。また、本研修会に先立ち 10 月 23 日に開催した「第 1 回次世代モビリティ関連技術講座」では、名古屋大学の山本真義教授に事前解説を交えた内容でご講演いただき、セットで参加いただくことで、車両の構造や搭載される技術等への理解をより深めた。

- ・ 開催日時：令和 6 年 10 月 30 日（水）9：30～16：00（午前の部/午後の部の 2 回開催）
- ・ 開催場所：三洋貿易㈱ 瑞浪展示場（岐阜県瑞浪市釜戸町 3361-3）
- ・ 開催内容：展示会場自由見学（三洋貿易㈱から展示部品説明）
- ・ 参加人数：企業：33 社 69 名、支援機関・行政：8 名、事務局：9 名 合計：86 名
- ・ アンケート調査における参加者からの主な感想・意見：
 - ✓ 実物を見ながら会場スタッフの方が丁寧に解説いただけて勉強になりました。
内部などの構造を実際に目にする機会がなかなかないため、貴重な体験でした。
 - ✓ 普段なかなか見れないような部品が見れて、これから EV 化が進む中で今後の展望などを社内検討する機会となった。
 - ✓ バッテリーの構造の違いなどを丁寧に説明して頂き分かり易かった。車種ごとの高電圧部品のスペックの（出力容量だけでも）比較が出来れば在り難いです。



EV 分解展示実地研修会の様子

(3) 専門家派遣に関する事業実績

専門家派遣の実施

自動車部品サプライヤー事業転換支援事業プロジェクトマネージャーなどが、県内企業が抱える課題に対する相談対応を行う中で、特に専門性の高い課題については、専門家派遣等事務局との協議を行い、専門家を企業へ派遣し課題解決を図った。令和6年度においては、2社、4件の専門家派遣を実施した。

特にB社の技術支援においては、令和5年度から継続しており、伴走的に情報収集等による支援を実施した。

【専門家派遣実施状況】

	派遣日	企業名（所在地）	支援概要	派遣人数	方法
1	6/24	A社	温間プレスの熱効率や加工条件、金型設計などの製造技術の相談	1	訪問
2	7/4	B社	プレスフィット端子に関する技術相談	1	訪問
3	11/26	B社	プレスフィット端子に関する技術相談	1	訪問
4	3/3	B社	プレスフィット端子に関する技術相談	1	Web

(4) その他

①コーディネーターの設置

相談対応を行うコーディネーターとして、自動車関連企業において生産技術に従事してきた「自動車部品サプライヤー事業転換支援事業プロジェクトマネージャー」（常勤）に加えて、営業やプロジェクト関連の事業に従事してきた「事業転換支援アドバイザー」（非常勤）を令和6年4月1日から令和7年3月31日まで設置した。

②地域支援ネットワーク・協議会等の設置

長野県工業技術総合センターでは、同施設内にある4つの産業支援機関（長野県工業技術総合センター、公益財団法人長野県産業振興機構、一般社団法人長野県発明協会、独立行政法人日本貿易振興機構長野貿易情報センター）が連携促進を図り、県内企業への支援を全機関挙げて総合的に推進するため、工業技術総合センター施設内産業支援機関会議を設置し、定期的に企業支援情報や支援状況等の共有並びにハンズオン型支援等に関する連携の調整について、議論する場である企業支援連携会議を設置している。

【企画連携推進会議出席者】

所属	職名
長野県工業技術総合センター	技術連携部門長、材料技術部門長、技術連携部門研究企画幹
一般社団法人長野県発明協会	専務理事兼事務局長、知的財産アドバイザー
独立行政法人日本貿易振興機構長野貿易情報センター	所長、所長代理
公益財団法人長野県産業振興機構	事務局長兼企画連携部長、次世代産業部長、グリーンイノベーション推進部長、IT バレー推進部長、経営支援部長、よろず支援拠点チーフコーディネーター、マーケティング支援部長、企画連携部次長、自動車部品サプライジャー事業転換支援事業プロジェクトマネージャー、企画連携部アシスタントコーディネーター

この企業支援連携会議の事務局は機構であり、原則毎月第3週の火曜日に開催し、本委託事業において相談対応した企業支援情報を共有したほか、知財戦略、生産における県内協力企業先の探索、県内から海外メーカーへの輸出の方法における課題など、機構を含む4機関が連携して解決に向けて議論し、連携して支援にあたった。

③本事業の広報

本事業に関する相談窓口の設置やセミナー等のイベント実施にあたっては、機構のホームページに掲載した上で、県と連携しながらプレスリリースを行うことで周知し、県内企業の相談窓口の利用やセミナー等への参加を促した。

また、実地研修やセミナーにあたっては、独自のメールマガジン「長野県産業振興機構メールマガジン」により県内企業の担当者約5,300件に送付して周知したほか、県内66の産業支援機関が参画するながの産業支援ネットの事務局であることから、県内の大学や高等専門学校、商工団体、金融機関、その他の産業支援機関を通じて、県内企業への浸透を図った。

④長野県独自の取組

長野県では、世界的なCASE対応等の技術潮流を踏まえ、グローバルサプライチェーンへの参入と新たなEV関連産業の創出による「EV関連産業クラスター」の形成を促進するため、県内自動車関連産業のEVシフト・海外展開を支援する各事業を実施した。県は、自動車関連の産業振興に関する以下の事業を実施した。

ア EV分解調査による構造研究事業（県からの委託により機構が実施）

県内企業がEVの分解を通じて、構造や仕組みを理解し、技術的特徴を把握するとともに、自社の技術力の向上とEV部品の開発・製造に結び付け、EV市場への新規参入及び参入済み企業の技術向上等に繋げることを目的に、事前セミナーや分解講座（実地研修）を実施した。



事前セミナー



分解講座（実地研修）

イ 自動車関連の展示会における販路開拓支援（県の補助により機構で実施）

ドイツで開催される世界最大級の自動車専門国際展示会である Automechanika Frankfurt 2024 (9/10～14・フランクフルト)、ドイツ最大の自動車専門国際見本市である International Suppliers Fair 2024 (10/22～24・ヴォルフスブルク) に長野県ブースを設置することにより、県内で生産された部品や技術を PR し、欧州メーカーのサプライチェーン参入の足掛かりとした。

(ア) Automechanika Frankfurt 2024

- ・開催日時：令和6年9月10日（火）～9月14日（土）（5日間）
- ・開催場所：ドイツフランクフルト国際見本市会場
- ・出展企業：4社

(イ) International Suppliers Fair 2024

- ・開催日時：令和6年10月22日（火）～10月24日（木）（3日間）
- ・開催場所：Wolfsburg Allerpark（ドイツ・ヴォルフスブルク）
- ・出展企業：4社

ウ グローバルマーケティングセミナーの開催

（令和6年度グローバル展開推進事業〔長野県補助事業〕）

EV 化が加速する欧州自動車市場の動向と次世代自動車への県内企業のビジネスチャンスを探るため、セミナーを開催した。

【開催実績】

- ・開催日：令和6年8月27日
- ・場所：塩尻総合文化センター（塩尻市）
（オンライン併用のハイブリッド開催）
- ・内容：「欧州 EV 市場の動向と参入のポイント」及び
パネルディスカッション（展示会出展企業のスキルアップ研修）長瀬産業㈱
- ・参加者数：59名（会場22名＋オンライン37名）

エ 自動車関連メーカー向け技術提案会の開催

（技術提案商談会事業〔長野県補助事業〕）

開催日・場所	概要	参加社数	来場者数
令和6年8月28日 ～8月30日 ㈱佐賀商工社（佐賀 県佐賀市）	㈱佐賀商工社が求める特色・加工技術を予め 把握して候補となる県内企業を選定し、対象の 県内企業にて工場見学＋対面個別商談形式で 技術提案を実施	5社 （申請5社）	3名

令和6年11月18日 ㈱明電舎 沼津事業 所（静岡県沼津市）	㈱明電舎が求める特色・加工技術を予め把握し て候補となる県内企業を選定し、個別面談方式 （オンライン）で技術提案を実施	3社 （申請10社）	5名 （オンライン）
--------------------------------------	---	---------------	---------------

⑤事業の報告

本委託事業による長野拠点における相談件数や専門家派遣活用件数、実地研修・セミナー等の実施状況については、毎月当初に前月分の結果を集計し、専門家派遣等事務局の求めに応じ報告を行った。